

# 短歌

# 大募集!

# 写真

「鶴見川の自然」「郷土(流域)の文化」

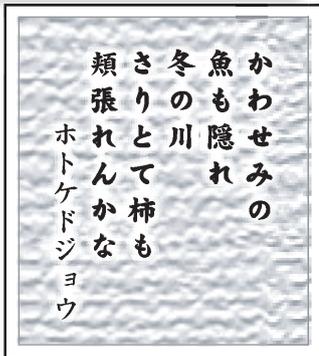
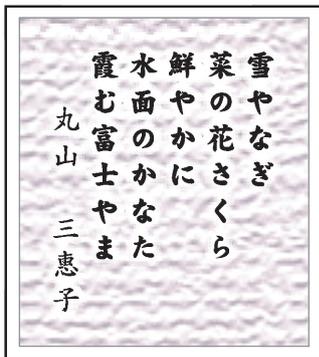
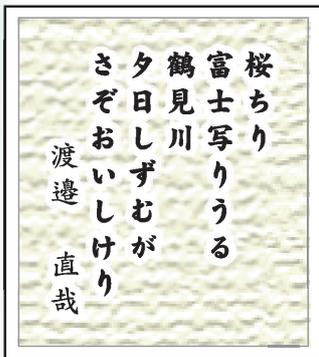
テーマ

私が見つけた水マス

〆切 2/28(木)

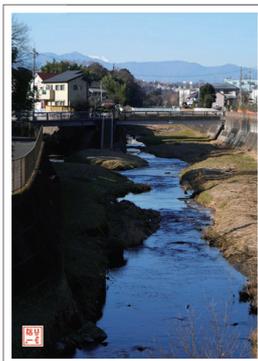
〆切 1/31(木)

昨年の作品例



※本企画は作品の優劣や画質などの技術を競うものではなく、流域に親しんでいただくことが目的です。

過去の作品などから水マスの例を該当する各マネジメントで紹介



富士山と翡翠  
撮影：野中 浩一氏

源流丸山橋付近では洪水を防ぐための新河道の整備(洪水時水マネジメント)と共に、親水施設の整備(水辺ふれあいマネジメント)、旧河川を活かし、生きものに優しい川づくり、良好な河畔林の保全(自然環境マネジメント)が行われています。



サマーフェスティバルのクルーズ  
撮影：Yuji 氏

佃野防災拠点では地震や火災時に避難場所や緊急物資を運ぶ輸送路として整備されました(震災・火災時マネジメント)。普段は市民の憩いの場所やイベントの会場としても利用されています(水辺ふれあいマネジメント)。



晩秋の源流を歩く  
撮影：ひげコバ氏

源流保水の森は降った雨が、土に染みこみ下流を水害から守ります(洪水時水マネジメント)。地中の水はやがて湧水となり川の水量を増やし水質を向上させます(平常時水マネジメント)。周囲の森は流域の生物多様性を充実させます(自然環境マネジメント)。

## 募集要項

友の会 10P

- 募集期間：2/1(金)～2/28(木)
- お気に入り投票期間：3/2(土)～3/24(日)
- 投票結果と伊藤先生選作品発表期間：3月25日(月)～
- 投稿者名：本名、ニックネームどちらでも可
- 連絡先：お名前、住所、電話、Eメール
- 提出方法

- 1) 応募用紙に記入し受付に提出
- 2) 流域センターにEメール(ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp)
- 3) FAX(045-475-1999)
- 4) はがき 〒222-0036 横浜市港北区小机町 2081  
地域防災施設 鶴見川流域センター宛に送付

人気投票があります

## 募集要項

友の会 10P

- 募集期間：1/5(土)～1/31(木)
- お気に入り投票期間：2/6(水)～2/24(日)
- 投票結果：2/25(月)～
- 投稿者名：本名、ニックネームどちらでも可
- 連絡先：お名前、住所、電話、Eメール
- 投稿写真のタイトルと投稿写真の撮影場所
- 提出方法

- 1) 流域センターにEメール(ktr-waku2tsurumi@mlit.go.jp)
- 2) 鶴見川流域センター受付へデジタルデータを提出  
※写真データのファイル形式はJPG形式で  
※データ容量：1写真あたり5MBまで(A4またはA3で写真を印刷します)  
※人物が映っている作品は、本人の了解を得ていることが条件となります。  
※応募作品の著作権は主催者に帰属します。  
※入賞作品は鶴見川流域のPRなどに使用されることがあります。

要申込

2/2(土) 伊藤宏見先生の短歌教室



講師：伊藤宏見氏  
(沙羅短歌会主宰・東洋大学名誉教授)  
★13:30～15:30  
小学生～大人(小学生は保護者同伴) 無料 定員：20名

友の会 3P

主催：地域防災施設鶴見川流域センター 共催：連携鶴見川流域ネットワークینگ  
協力：沙羅短歌会 フリーペーパー「えがお」 港北ふるさとテレビ局 流域センター応援団

主催：NPO法人鶴見川流域ネットワークینگ 共催：地域防災施設鶴見川流域センター  
協力：連携鶴見川流域ネットワークینگ 流域センター応援団

応募者全員に参加賞をさしあげます。(提供は流域センター応援団)